

食への感謝と理解を深める農業体験活動の実施

事業実施主体:小矢部市(富山県)

- 小矢部市では、第2次小矢部市食育推進計画(平成31年度～令和5年度)において、「『お』『や』『べ』『し』のところで食育推進」を基本目標に、「農業体験から食への理解を深める」を重点目標として、農業体験をする人の割合を増やすことを指標とし、食育を推進している。
- 市内の小学校児童親子を対象に農業体験を実施し、地元特産物の植付・収穫体験、収穫した地元特産物で料理教室を行い、農業体験からの食への理解を深めた。
- 市内小学校児童を対象に、地域特産物及び市内で作られている野菜が分かる「地場産マップ」を作成し、地元食材への意識を高めた。



【取組の内容】

小矢部市農作業体験

親子で地元特産物の生産活動や親子料理体験等を通して生産者との交流を深め、食の感謝と理解を高める。



農業体験会場の案内版



白菜の植付の様子



白菜の収穫の様子



収穫した白菜で餃子作りの様子

【取組の成果】

- 農業体験等や生産者との交流を通じて、農作業の苦労や難しさを知ってもらう機会となった。
- 農作業体験により食への関心や理解が深まり、地元特産物の魅力が広がり、地元特産物への認識を高める結果となった。



地場産マップ

～小矢部市農作業体験参加者の感想(抜粋)～

- 白菜は小さな苗から育てることに衝撃を受けた。
- 白菜はすごく重く、**農家の苦労が分かった**。
- 定植や収穫体験に参加が初めてで、思ったより子供たちが楽しんでくれたので、次回も機会があれば参加したい。
- 食に対する興味を持つことができ、貴重な機会となった。
- 土に触れることがあまりないので、**親子ともども楽しい経験**となった。
- **生産者に感謝の思い**を強く持つことができた。